

# 武部力也の週間為替相場見通し

9/10週号

「自民・日銀総裁」と「円」が秋風を覚悟する局面

**ドル円予想レンジ 109.80-111.80**

「結構長い期間にわたり、上げるという考えはない」。これは9/1の大手新聞に掲載された黒田日銀総裁による現・金融政策(短期金利-0.1%、長期金利0%程度への操作)に対する考えだ。金融政策を正常化させる可能性を明確に否定している内容となる。

## ■自民党総裁と日銀総裁は円高抑制を希望■

物価見通しを引き下げ、2%物価目標との乖離が拡大するなか、7月末に黒田日銀総裁は「強力な金融緩和の枠組み強化」として低金利長期化を謳うフォワードガイダンスを導入した。9/7告示・9/20投開票の自民党総裁選で「3選」を目指す安倍総裁(首相)がアベノミクスの実績を前面に打ち出すなかで、その実績、効能への誹りを回避させるためにも、「強力」「強化」とした支援姿勢を黒田総裁がより一層高めたようにも映る。「アベノミクス失敗」と受け取られかねない金融政策修正、言い回しは政治的に“完全NG”であり、市場での円高圧力増幅も避けたいのが本音の筈だ。では、目先、円高警戒感を高めておく必要はあるのか。

## ■円が秋風(飽き風)に晒される覚悟も■

例年、“夏の円高”が警戒されるが、本年7-8月のドル円高安は109.76-113.18、3円42銭程度。値幅抑制、停滞感は拭えない。理由は何か。筆者は3つの事情を推考した。ひとつは日銀の円高抑制志向に対しトランプ大統領がFRB金融政策の正常化、性急な利上げ、ドル高に批判的であること(≒円売り・ドル売り)。ふたつ目はトルコショックなど新興国通貨の不安再燃化で新興国通貨売り/リスク回避の円高圧力が高まった一方、米一人勝ちの状況から「有事のドル買い」も強まったこと(≒円買い・ドル買い)。3つ目は7月米貿易赤字額が前月に続き拡大したが、同盟国“日本”には(中国やEUとは違って)未だ、為替操作の非難をトランプ大統領が浴びせていないこと(≒円もドルも中立)、である。警戒すべきは不利とされる米中間選挙を控えたトランプ大統領が、焦燥をもって今までの実績アピールを強めることか。トランプ大統領が日本に貿易赤字の削減を強く迫る姿勢が9/6に報じられたが、「シンゾー・ドナルド」の政治密約関係をウラ読みすると、日本の代償としては恣意的な円高攻めも甘受せざるを得ないかもしれない。円が急遽、とばっちりを受ける可能性、ポソンと秋風(飽き風)に晒される場面も覚悟している。

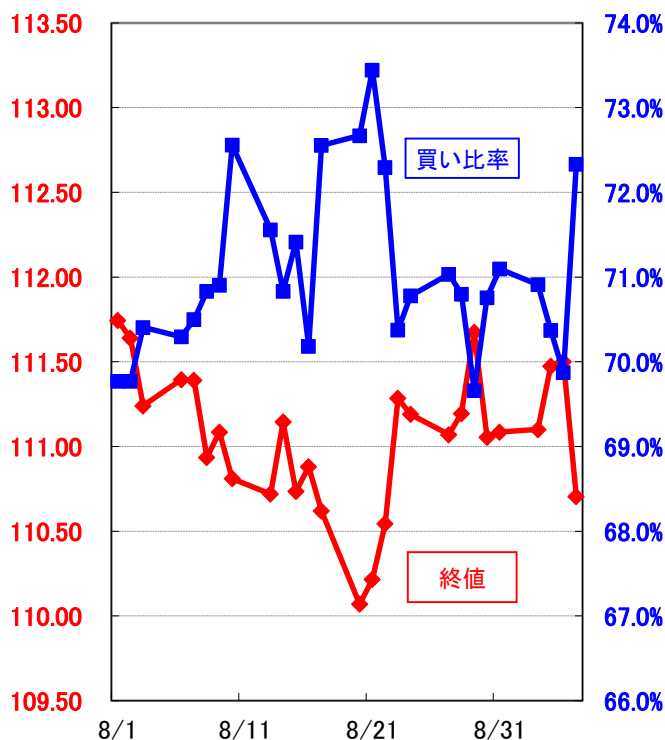
## ■9/10週ドル円焦点■

テクニカル観点では日足一目均衡表雲の帯(110.64-111.585)が意識され上値焦点は111.77-90圏(8/3、8/29、8/30、9/3高値)、8/1高値112.16。越えれば112.50近傍、そして7/20高値112.635意識。下値焦点は110円前半維持、8/22安値110.02。割れると200日線(109.80圏)の支援を推考し、8/21安値109.76、6/27安値109.69警戒。最終橋頭堡は6/25-26安値109.35-36、6/18安値109.185を意識。



出所: 岡三ネットトレーダープレミアム

## ドル円の終値と買い比率(2018/8/1~2018/9/6)



※岡三オンライン証券の対東京金融取引所(くりっく365)における買い比率

※買い比率(買残玉÷(売残玉+買残玉)×100)

## 取り扱い金融商品に関する留意事項

- 商号: 岡三オンライン証券株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号
- 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会
- リスク:【株式等】株価変動による値下りの損失を被るリスクがあります。信用取引、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引では投資金額(保証金・証拠金)を上回る損失を被る場合があります。株価は、発行会社の業績、財務状況や金利情勢等様々な要因に影響され、損失を被る場合があります。投資信託、不動産投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等は、裏付け資産の評価額(指数連動型の場合は日経平均株価・TOPIX等)等、先物取引、オプション取引および株価指数証拠金取引は対象指数等の変化に伴う価格変動のリスクがあります。外国市場については、為替変動や地域情勢等により損失を被る場合があります。上場新株予約権証券は、上場期間・権利行使期間が短期間の期限付きの有価証券であり、上場期間内に売却するか権利行使期間内に行使しなければその価値を失い、また、権利行使による株式の取得には所定の金額の払込みが必要です。株価指数証拠金取引では建玉を保有し続けることにより金利相当額・配当相当額の受け払いが発生します。【外貨建て債券】債券の価格は基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動するため、償還の前に売却すると損失を被る場合がございます。また、額面金額を超えて購入すると償還時に損失を被る場合がございます。債券の発行者又は債券の元利金の支払いを保証している者の財務状態の悪化等により、債券の価格が変動し損失を被る場合がございます。債券の発行者又は債券の元利金の支払いを保証している者の財務状態の悪化等により元本や利子の支払いが滞り損失を被る場合がございます。外貨建て債券は外国為替相場の変動などにより、円換算でのお受取金額が減少する恐れがあります。これにより円換算で投資元本を割込み、損失を被る場合がございます。【FX】外国為替証拠金取引(以下、「FX」という。)は預託した証拠金の額を超える取引ができるため、対象通貨の為替相場の変動により損益が大きく変動し、投資元本(証拠金)を上回る損失を被る場合があります。外貨間取引は、対象通貨の対円相場の変動により決済時の証拠金授受の額が増減する可能性があります。対象通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。ポジションを構成する金利水準が逆転した場合、スワップポイントの受取から支払に転じる可能性があります。為替相場の急変時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。【各商品共通】システム、通信回線等の障害により発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。
- 保証金・証拠金:【信用】最低委託保証金30万円が必要です。信用取引は委託保証金の額を上回る取引が可能であり、取引額の30%以上の委託保証金が必要です。【先物・オプション】発注必要証拠金および最低維持証拠金は、「(SPAN証拠金額×当社が定める掛け目)ーネットオプション価値の総額」とし、選択取引コース・取引時間によって掛け目は異なります。当社のWebサイトをご確認ください。また、変更の都度、当社のWebサイトに掲載いたします。【株価指数証拠金取引】発注証拠金(必要証拠金)は、株価指数ごとに異なり、取引所により定められた証拠金基準額となります。Webサイトで最新のものをご確認ください。【FX】個人のお客様の発注証拠金(必要証拠金)は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額に選択レバレッジコースに応じた所要額を加えた額とし、店頭FXでは、取引金額(為替レート×取引数量)×4%以上の額とします。法人のお客様の発注証拠金(必要証拠金)は、取引所FXでは、取引所が定める証拠金基準額とし、店頭FXでは、取引金額(為替レート×取引数量)×金融先物取引業協会が公表する数値とします。発注証拠金に対して、取引所FXでは、1取引単位(1万又は10万通貨)、店頭FXでは、1取引単位(1,000通貨)の取引が可能です。発注証拠金・取引単位は通貨ごとに異なります。Webサイトで最新のものをご確認ください。
- 手数料等諸費用の概要(表示は全て税込・上限金額):【日本株】取引手数料には1注文の約定代金に応じたワンショットと1日の合計約定代金に応じた定額プランがあります。ワンショットの上限手数料は現物取引で3,240円、信用取引で1,296円。定額プランの手料は現物取引の場合、約定代金100万円以下で上限864円、以降約定代金100万円ごとに540円加算、また、信用取引の場合、約定代金200万円以下で上限1,080円、以降約定代金100万円ごとに324円加算します。手数料プランは変更可能です。信用取引手数料は月間売買実績により段階的減額があります。信用取引には金利、管理費、権利処理等手数料、品貸料、貸株料の諸費用が必要です。【上場新株予約権証券】日本株に準じます。【中国株】国内取引手数料は約定金額の1.08%(最低手数料5,400円)。この他に香港印紙税、取引所手数料、取引所税、現地決済費用の諸費用が必要です。売買にあたり円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【外貨建て債券】外貨建て債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。外貨建て債券の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。【先物】取引手数料は、通常取引コースの場合、日経225先物が1枚につき324円(取引枚数により段階的減額あり)、日経225mini、ミニTOPIX先物、東証REIT指数先物、TOPIX Core30先物、東証マザーズ指数先物、JPX日経インデックス400先物が1枚につき43円、TOPIX先物、日経平均VI先物が1枚につき324円、NYダウ先物が1枚につき864円。アクティブ先物取引コースの場合、日経225先物が1枚につき270円、日経225miniが1枚につき27円です。【オプション】取引手数料は、日経225オプションが約定代金に対して0.1728%(最低手数料216円)、TOPIXオプションが約定代金に対して0.216%(最低手数料216円)です。【株価指数証拠金取引】取引手数料は、1枚につき153円です。【投資信託】お申込みにあたっては、当該金額に対して最大3.78%の申込手数料をいただきます。換金時には基準価額に対して最大0.75%の信託財産留保金をご負担いただく場合があります。信託財産の純資産総額に対する信託報酬(最大2.484%(年率))、その他の費用を間接的にご負担いただきます。また、運用成績により成功報酬をご負担いただく場合があります。詳細は目論見書でご確認ください。【FX】取引所FXの取引手数料は、くりっく365が無料、くりっく365ラージが1枚につき1,000円です。店頭FXの取引手数料は無料です。スプレッドは、通貨ごとに異なり、為替相場によって変動します。Webサイトで最新のものをご確認ください。
- お取引の最終決定は、契約締結前交付書面、目論見書等およびWebサイト上の説明事項等をよくお読みいただき、ご自身の判断と責任で行ってください。

本投資情報は、情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としたものではありません。本投資情報の掲載情報の正確性・妥当性等について、岡三オンライン証券およびその情報の提供者が一切保証するものではありません。ご投資の最終決定は、お客様ご自身の知識、経験、投資目的、資産状況等に適う範囲で、ご自身の判断と責任で行ってください。本投資情報によって生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。本投資情報は、いかなる目的であれ当社の許可なく転用・販売することを禁じます。